



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	38,858	△6.2	3,630	142.6	1,320	△31.4	988	△29.0	828	△32.2	△6,359	—
28年3月期第1四半期	41,419	11.8	1,496	△35.2	1,925	△2.6	1,392	△3.2	1,221	△2.8	2,511	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	16.52	—
28年3月期第1四半期	24.35	—

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	149,073	105,223	99,972	67.1	1,991.95
28年3月期	159,212	112,596	107,010	67.2	2,132.18

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	76,000	△9.6	4,700	△12.3	2,800	△44.3	2,100	△51.5	1,800	△54.6	35.86
通期	155,000	△7.4	10,000	2.7	8,500	4.7	6,500	△5.9	6,000	△2.6	119.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	52,644,030株	28年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,455,724株	28年3月期	2,455,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	50,188,306株	28年3月期1Q	50,188,538株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) セグメント情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、米国において四輪車用クラッチの販売が増加したものの、主にタイやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことに加え、円高の影響もあり、売上収益は38,858百万円（前年同期比6.2%減）となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、米国における増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果に加え、前第1四半期に計上した生産管理システムの開発中止に伴う減損損失の影響が無くなったこともあり3,630百万円（前年同期比142.6%増）となりました。税引前四半期利益は、為替差損の影響により1,320百万円（前年同期比31.4%減）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は828百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

主にタイやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は17,611百万円（前年同期比12.3%減）となりました。営業利益は、主にインドネシアの内作費削減等の効果や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり2,271百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

(四輪車用クラッチ)

円高の影響があったものの、米国においてフォード、ZF/FCA向けの販売が増加したことにより、売上収益は21,247百万円（前年同期比0.4%減）となりました。営業利益は、米国における増収に伴う利益の増加や前期に計上した減損損失の影響が無くなったこともあり1,359百万円（前年同期比433.4%増）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

主に四輪車用クラッチの販売の減少により、売上収益は5,143百万円（前年同期比14.4%減）となりました。営業損益は、前期に計上した減損損失の影響が無くなったものの、減収に伴う利益の減少や円高の影響により63百万円の営業損失（前年同期は617百万円の営業損失）となりました。

(米国)

円高の影響があったものの、フォード、ZF/FCA向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことにより、売上収益は15,557百万円（前年同期比2.4%増）となりました。営業利益は、円高の影響があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果により896百万円（前年同期比147.6%増）となりました。

(アジア)

主にタイやインドネシアにおいて二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は17,437百万円（前年同期比11.0%減）となりました。営業利益は、主にインドネシアにおける内作費削減等の効果により2,428百万円（前年同期比77.3%増）となりました。

(その他)

ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したものの、メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したことにより、売上収益は719百万円（前年同期比15.0%増）となりました。営業損益は、ブラジルの減収影響があったものの、メキシコの立上げ費用が減少したことにより34百万円の営業損失（前年同期は95百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は65,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,780百万円減少しました。これは主に営業債権及びその他の債権が2,994百万円、棚卸資産が1,205百万円、その他の流動資産が669百万円減少したことによるものであります。

(非流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は83,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,358百万円減少しました。これは主に有形固定資産が3,347百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は29,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,106百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が933百万円、その他の流動負債が469百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は14,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,659百万円減少しました。これは主に借入金が1,470百万円減少したことによるものであります。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末の資本は105,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,372百万円減少しました。これは主にその他の資本の構成要素が6,869百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は22,929百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7,937百万円となり、前年同期に比べ702百万円増加しました。これは主に法人所得税の支払額が2,257百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,979百万円となり、前年同期に比べ374百万円減少しました。これは主に無形資産の取得による支出が213百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,523百万円となり、前年同期に比べ3,270百万円減少しました。これは主に短期借入金の純増減額が2,646百万円、長期借入れによる収入が617百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、想定為替レートの見直し等により、平成28年4月28日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました予想値を次のとおり修正しております。

第2四半期連結累計期間

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 77,000	百万円 3,700	百万円 3,800	百万円 2,800	百万円 2,600	円 銭 51.80
今回修正予想 (B)	76,000	4,700	2,800	2,100	1,800	35.86
増減額 (B-A)	△1,000	1,000	△1,000	△700	△800	
増減率 (%)	△1.3	27.0	△26.3	△25.0	△30.8	

通期

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 160,000	百万円 10,000	百万円 10,200	百万円 7,800	百万円 7,400	円 銭 147.44
今回修正予想 (B)	155,000	10,000	8,500	6,500	6,000	119.55
増減額 (B-A)	△5,000	0	△1,700	△1,300	△1,400	
増減率 (%)	△3.1	0.0	△16.7	△16.7	△18.9	

なお、主要通貨の想定為替レートは次のとおりであります。

	第1四半期連結累計期間実績	第2四半期以降の想定レート	通期想定レート
1米ドル	円 108.21	円 105.00	円 105.80
1タイバーツ	3.07	2.97	2.99
1インドネシアルピア	0.0081	0.0079	0.0080
1インドルピー	1.62	1.55	1.57

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,450	22,929
営業債権及びその他の債権	25,398	22,403
その他の金融資産	905	516
棚卸資産	18,007	16,801
その他の流動資産	3,873	3,203
流動資産合計	71,635	65,855
非流動資産		
有形固定資産	72,066	68,718
のれん及び無形資産	2,716	2,850
持分法で会計処理されている投資	542	480
その他の金融資産	8,632	7,595
繰延税金資産	3,126	3,132
その他の非流動資産	492	440
非流動資産合計	87,576	83,218
資産合計	159,212	149,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	13,981	13,048
借入金	9,887	9,920
未払法人所得税	1,517	1,781
その他の流動負債	4,883	4,413
流動負債合計	30,269	29,163
非流動負債		
借入金	8,426	6,955
その他の金融負債	29	97
退職給付に係る負債	1,903	1,903
引当金	36	36
繰延税金負債	5,688	5,451
その他の非流動負債	262	242
非流動負債合計	16,346	14,687
負債合計	46,616	43,850
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	99,720	99,551
自己株式	△3,408	△3,408
その他の資本の構成要素	6,523	△346
親会社の所有者に帰属する持分合計	107,010	99,972
非支配持分	5,585	5,250
資本合計	112,596	105,223
負債及び資本合計	159,212	149,073

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	41,419	38,858
売上原価	△35,380	△32,044
売上総利益	6,038	6,814
販売費及び一般管理費	△3,230	△3,356
その他の収益	111	204
その他の費用	△1,423	△32
営業利益	1,496	3,630
金融収益	457	159
金融費用	△28	△2,465
持分法による投資損益	△0	△3
税引前四半期利益	1,925	1,320
法人所得税費用	△533	△332
四半期利益	1,392	988
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,221	828
非支配持分	170	159
四半期利益	1,392	988
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	24.35	16.52
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益	1,392	988
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△0	6
計	△0	6
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	229	△672
在外営業活動体の換算差額	887	△6,684
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	3	2
計	1,120	△7,354
その他の包括利益合計	1,119	△7,348
四半期包括利益	2,511	△6,359
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,410	△6,034
非支配持分	101	△325
四半期包括利益	2,511	△6,359

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	売却可能金融 資産の公正価 値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	4,175	—	95,864	△3,408	8,960	4,597
四半期利益	—	—	1,221	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	959	229
四半期包括利益合計	—	—	1,221	—	959	229
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△1,003	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△1,004	△0	—	—
2015年6月30日時点の残高	4,175	—	96,081	△3,408	9,920	4,827

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再 測定	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	—	13,558	110,190	6,131	116,321
四半期利益	—	—	1,221	170	1,392
その他の包括利益	△0	1,188	1,188	△69	1,119
四半期包括利益合計	△0	1,188	2,410	101	2,511
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△1,003	△7	△1,011
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	0	0	—	—	—
所有者との取引額合計	0	0	△1,004	△7	△1,011
2015年6月30日時点の残高	—	14,747	111,596	6,225	117,821

当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	売却可能金融 資産の公正価 値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年4月1日時点の残高	4,175	—	99,720	△3,408	2,907	3,615
四半期利益	—	—	828	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,202	△666
四半期包括利益合計	—	—	828	—	△6,202	△666
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△1,003	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	—	6	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△997	—	—	—
2016年6月30日時点の残高	4,175	—	99,551	△3,408	△3,295	2,948

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再 測定	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年4月1日時点の残高	—	6,523	107,010	5,585	112,596
四半期利益	—	—	828	159	988
その他の包括利益	6	△6,863	△6,863	△484	△7,348
四半期包括利益合計	6	△6,863	△6,034	△325	△6,359
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△1,003	△9	△1,013
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	△6	△6	—	—	—
所有者との取引額合計	△6	△6	△1,003	△9	△1,013
2016年6月30日時点の残高	—	△346	99,972	5,250	105,223

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,925	1,320
減価償却費及び償却費	3,037	2,703
減損損失	1,367	—
金融収益及び金融費用	△107	△112
持分法による投資損益(△は益)	0	3
固定資産除売却損益(△は益)	15	△25
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,154	△181
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△159	1,196
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	229	97
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	24	79
その他	1,235	2,804
小計	8,724	7,885
利息及び配当金の受取額	117	97
利息の支払額	△189	△21
法人所得税の支払額	△2,282	△24
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	864	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,234	7,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	—
定期預金の払戻による収入	—	331
有形固定資産の取得による支出	△4,881	△5,073
有形固定資産の売却による収入	35	25
無形資産の取得による支出	△507	△293
無形資産の売却による収入	2	—
貸付けによる支出	△37	△21
貸付金の回収による収入	65	57
投資の取得による支出	△3	△3
その他	△24	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,354	△4,979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,117	△528
長期借入れによる収入	617	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△981	△985
非支配株主への配当金の支払額	△7	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,746	△1,523
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,627	1,433
現金及び現金同等物の期首残高	17,557	23,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	99	△1,954
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,283	22,929

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第1四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年6月30日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	20,082	21,336	41,419	—	41,419
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	20,082	21,336	41,419	—	41,419
減価償却費及び償却費	△1,214	△1,823	△3,037	—	△3,037
その他の損益	△17,625	△19,258	△36,884	—	△36,884
営業利益	1,241	254	1,496	—	1,496
金融収益					457
金融費用					△28
持分法による投資損益					△0
税引前四半期利益					1,925

(注) その他の損益には、減損損失1,367百万円（二輪車用クラッチ759百万円、四輪車用クラッチ607百万円）が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	17,611	21,247	38,858	—	38,858
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	17,611	21,247	38,858	—	38,858
減価償却費及び償却費	△1,121	△1,582	△2,703	—	△2,703
その他の損益	△14,218	△18,305	△32,524	—	△32,524
営業利益	2,271	1,359	3,630	—	3,630
金融収益					159
金融費用					△2,465
持分法による投資損益					△3
税引前四半期利益					1,320

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

外部顧客からの売上収益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
	百万円	百万円
日本	4,399	3,923
米国	15,927	16,005
インドネシア	5,178	4,530
インド	4,731	4,612
その他	11,181	9,786
合計	41,419	38,858

(注) 1. 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。

2. その他の区分に属する主な国は、タイ、中国、ブラジル及びベトナムであります。